

※板橋富士見幼稚園教育課程の一部を簡易版として掲載しています。詳細や第二期以降については板橋富士見幼稚園までお問い合わせください。
TEL:03-3965-7001

令和4年度版

板橋富士見幼稚園教育課程【一般簡易版】

○ 本園の幼児教育に対する理念と精神

多様性に富んだグローバル社会に向けた豊かな人の育成に向けて、次の理念と精神の下に幼児教育を行います

○板橋富士見幼稚園の全ての教職員は、一人一人の幼児を保護し最善の利益を保障する保育を行うと共に、教師と保護者が常に一体となって豊かな人間観の育成に寄与します。そのために教職員が一体となって、以下の理念に基づき教育を行います。

私たちは、

- ・子どもを大事にする保育を目指します。
- ・家庭を大事にする保育を目指します。
- ・奉職の精神をもって保育に専念します。
- ・一人一人に繊細な心が宿る保育を目指します。

○ 標 語

心 愛 健 美

「心」心の美しい子ども・「愛」だれからも愛される子ども・「健」健康な子ども・「美」明るく天真爛漫な美しい子ども

○質の高い幼児教育を目指すため、個人主義を尊重し、社会に適応できる豊かな人間力を育てていきます。
基本、遊びを通して主体性を重視し、自発的に取り組む中で様々な体験を経験し、その経験を積み上げながら自信が持てる子どもの育成を目指します。

自信は、好奇心や興味関心を抱くとき、自らの体験を積み重ねる中で培われます。そのため、子どもの遊ぶ環境はとても重要と考えております。
子ども自らの主体自発を促す環境として、本園は、小動物等と自然環境を重視しています。
標語の下に、こうした環境を通して実現していきます。

板橋富士見幼稚園 3歳児保護者向け教育課程（一般簡易版）

期	一 期 （全五期の内）	主たる活動と行事
月	4月から5月への育ち	4月 入園式 4月 歓迎式 5月 節句集会 5月 内科検診 4・5月 発育測定 5月 春の遠足 5月 お誕生日会（4.5月生まれ）
予想される姿	<ul style="list-style-type: none"> ○ 幼児は集団生活が初めてのため、登園に戸惑う姿が見られます。 ○ 登園を拒否したり、泣いたり、じっと動かなかったりと態度で訴える姿が見られます。 ○ 家庭で経験している遊びを楽しむ姿が見られます。 ○ 小動物や植物、室内遊具などに触れながら落ち着いて取り組む姿も見られます。 ○ 用便や手洗い、所持品の始末などの生活に個人差が見られます。 ○ 用便の習慣や着脱などに手間取り間に合わない幼児も見られます。 	経験する活動
育ちの姿	<ul style="list-style-type: none"> ○ 園生活が徐々に楽しめるようになり、喜んで登園できるようにしていきます。 教師は幼児と関わる機会を多く保ち信頼関係を築いていきます。 ○ 好きな遊びを見つけ先生や友だちと一緒に遊ぶことを楽しめるようにします。 グループやクラスで集まる機会を設け、外遊びやゲーム遊び・読み聞かせ・歌唱などみんなで過ごす楽しさが実感できるようにしていきます。 ○ 自分なりに遊びを見つけ楽しみながら先生や友だちと遊べるようにしていきます。 自分から好奇心や興味を持って遊べるよう、素材や魅力ある道具を用意しておき、主体的に遊びに参加しやすい環境を構成していきます。 ○ 自分の居場所や所持品の置き場所がわかり、手伝ってもらいながら一人でできるようにしていきます。 一人一人のお着替えや、所持品がしまえるようアシストしていきます。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 室内遊び（ぬぐるみ・積み木・レゴ・ままごと・お面づくり・粘土遊びなど） ○ 苺摘み・杏など（各自自由にとって食べる） ○ ゲーム遊び ○ 園内めぐり ○ 園での約束やきまりを知る ○ 砂場で自由に遊ぶ ○ 小動物や植物を見て回りながら飼育栽培されているものを知る（亀・鯉・金魚、ザリガニ、うさぎ、モルモットなど） ○ 種まきを楽しむ（朝顔・ひまわり・おじぎ草など） ○ 知っている歌をみんなで歌う ○ 絵を書いて遊ぶ（フィンガーペンティング・スタッピング・クレヨン・絵具など） ○ 楽器で遊ぶ（歌をうたう、鈴・カスタネット・トライアングル・手拍子など） ○ 追いかけっこ ○ トロッコ遊び ○ 所持品の場所を知る ○ 名前を呼び合う ○ お話を聞く

育ちに向けて経験するとされる内容（方向性）

- 室内や園庭にある遊具などで遊びを楽しむ。②⑤⑧ 一人遊びから次第にグループ化する遊びが見られるようになったら、指導計画のねらいに向けた遊びを精選していくようにしていきます。
- 衣服の着脱の仕方がわかり教師のアシストを受けながら、一人で着替えや所持品の始末ができるようになっていく。①⑤ 自分で衣服の着脱が出来るよう、たたみ方や容易くできる場を用意し、自ら取り組めるようにしていきます。
- 教師と共に取り組むことで、所持品をしまう場所や片付けの仕方がわかる。①⑤ 自分の居場所と自分だけの所持品のしまう場所が分かるような環境を整えます。シールや目印で、わかりやすく明示しておきます。
- 室内外の用具、素材、遊具の安全な扱い方を知る。① 使ってよい物・いけない物、しまう場所としまい方などを丁寧に繰り返し伝えていくと共に、遊びのきまりや遊び方に注視しながら、繰り返し指導していきます。
- 園生活の流れがわかり、幼稚園の楽しさがわかる。⑤ なるべく主体的な行動を促し、自由な時間や空間を用意し、自分から遊びを見つけ活動できると共に、活動の流れやその接続部分での対話に注視し、友達関係の繋がりを広げていきます。
- 好きな遊びを先生や友達と一緒に遊ぶ。②⑨⑩ 子どもの欲求に応じて教師も遊びに加わり、共感・共鳴・共有していくと共に、持続的関わりをアシストしていけるよう素材や道具を提供していきます。
- 身近な動植物に触れたり、イチゴを摘み味わったりする特別感を楽しむ。⑦ 身近な小動物の餌などを用意したり、イチゴを収穫して食べたり、その場で食べる味わいや喜びを教師と一緒に心を共有していきます。ジュース屋さんごっこや色水遊びなどを展開し、自然と共に生活があることを肌で感じられるようにしていきます。
- 身近な用具や道具（水道の栓・砂場の道具・フープ・室内遊具）の使い方を知る。④⑥ 学年での話し合いなどを通して、遊びに使用するモノの扱いや制限など、効果的（直接的）に話し合い、幼児の遊びが十分に発揮できるよう方向付けていきます。
- 手洗いの場やトイレ（水流し・トイレットペーパー）の使い方を知る。①④ 排泄行為やトイレの正しい使い方を、丁寧に個々に応じて繰り返し指導していきます。
- 「おはようございます」「さようなら」が言える。⑤⑨ 挨拶は、心の繋がりを確認する行為です。互いの存在感が伝え合えるよう笑顔で挨拶ができるようアシストしていきます。言葉やお辞儀に捕らわれることなく、挨拶行為を認めていくようにします。
- 自分の名前や、返事「はい」が言えるようになる。②③⑨ 挨拶や返事ができることは、集団生活のはじめの第一歩であり、聞く態度を育てていく一歩でもあります。小さな対話から、徐々にお話しが聞けるよう繋げていきます。
- みんなで一緒にお話を聞いたり、紙芝居や絵本を見たりして楽しむ。⑨⑩ この時期は、みんなで居る楽しさと、同じイメージを共有する楽しさを大切に読み聞かせを進めていくようにします。
- 知っている歌をみんなで歌って楽しむ。⑨⑩ 一人よりみんなで歌う楽しさを感じられるよう関わっていきます。リズムが楽しめるよう工夫していきます。
- 身近な物の動きを真似て楽しむ。①⑨⑩ 見立てていく行為は、幼児の発達を促す大切な行為です。色々な動物などになりきって遊ぶ機会を大切にしていきます。ムーブメントやリトミックなどを取り入れていきます。
- 簡単な楽器で自分なりの表現を楽しむ。③⑨⑩ 自分の気持ちを言葉以外で表現して楽しめるようにしていきます。
- 身近な材料（クレヨン・絵の具4色程度・紙・折り紙・画用紙など）で描いたり、作ったりして楽しむ。⑥⑩ 素材の性質や色の変化・形など、体験を通して学び楽しめるようにしていきます。

※記号は、幼稚園を卒園するまでに育ってほしい姿の、3歳で育ち持つことが期待される芽となる経験内容を示しています。（教員用です）

板橋富士見幼稚園の教育の根拠

- 「幼稚園教育要領」とは、幼児期の教育のあり方（ねらいと内容を示す）と指導の特質を記述した法律で規定されている文書です。
- 国が法的に定めている学校教育機関（幼稚園等）に対して、この「幼稚園教育要領」に準拠した保育を展開することが義務付けられています。
- 園は、「幼稚園教育要領」に準拠した独自の「教育課程」を編成し、教師はこの「教育課程」に基づき、幼児を教育していくことが法律で定められています。
- 本園は、園の「教育課程」に基づき、教員が「年間指導計画」及び「学級案」を作成し、「月計画」・「週計画」・「日計画」案を作成し、責任を持って保育しています。
- 本園は、「教育課程」に示す遊びと学びが育ちとして実現できているか否かについて、教員全員による「自己点検評価」を毎年実施し、ホームページで公開しています。
- 本園は、「自己点検評価報告書」に対して、適切に教育が適合しているか否かについて「学校関係者評価」を実施し、ホームページで公開しています。